

「一年を振り返って」

3年 N.N

私はこの感話で二年生の一年間を振り返って思ったことを書こうと思います。

まず一つ目は礼拝のことについてです。私はこの学校に入るまで礼拝に参加したことはなく、一年生の一年間は出席をして慣れることだけで精一杯でした。しかし、二年生になり、一年間の礼拝の流れを知ったことで気持ちに余裕がでてきて、礼拝は自分にとってとても大切な時間だと感じられるようになりました。礼拝での先生のお話や先輩、同輩の感話などからは自分にも生かせることを学ぶことができたり、自分とは違う考えや思いを聞くとても貴重な時間だったと思います。このように礼拝を通して自分を見つめ直せた一年間は、新しい学年への大きな力となっていると思うので、これからも一回一回の礼拝でのお話をしっかりと聞き、心を落ちつかせる時間にしていきたいと思いました。

二つ目は授業のことについてです。二年生になって授業の内容が難しくなり、一年生の頃よりも中間試験や期末試験の結果があまり良くなく、小テストでも自分が思っていたほど点を取ることができなかつたので、テストがあるたびに直しをするのがとても大変でした。しかし直しをすることで、内容が難しくなったことも点数が取れなかつた原因の一つだと分かりましたが、それ以上に間違えた問題はどのようにして間違えたのかなどが具体的に分かっていなかったことに気がつきました。また、テスト前の勉強が足りていなかったと振り返って思った所もあるので、三年生ではそのようなことを無くしていけるようにしたいです。三年生になると二年生よりもっと内容が難しくなるのは当然のことなので、授業で分からない所があった時には早めに質問に行ったり、類似した問題を繰り返し解いて理解し身につけたいと思っています。

そしてもう一つはクラスメイトのことについてです。私は自分から人に話しかけることや人前にでるなどの積極的な行動があまり得意ではありません。けれども、二年生の時のクラスでは一年生の時にクラスが同じだった人以外にも席の近い人と話をしたり、仲良くなることができました。また、合唱コンクールの練習や恵泉デーの準備ではクラス全員で協力して臨むことができ、仲がより深まったように思います。三年生になってクラスが変わったため、少し不安はありますが様々な行事を通して新しく同じクラスになった人たちとも仲良くしていけたらと思います。

振り返るとあっという間に一年が過ぎていったように感じます。その時々で自分なりに努力をしてきたつもりですが、良かったことはあまり多くないと思いました。しかし、その経験があったからこそ自分自身が成長でき、クラスでも団結して何かを成しとげることの大切さや達成感を知ることができました。

日々の学校生活を通して、この学校はそれぞれの個性を本当に大切に考えてくれていて一人一人が自分のやりたいことを見つけ、挑戦しやすい環境にあると感じています。けれども、私にとって何か挑戦することはハードルが高くてとても難しいことです。それでも三年生という中学最後の一年で色々なことに挑戦できるようにして、これからの学校生

活、そして普段の生活をより充実したものにしていこうと思います。